

三菱地所株式会社が発行する

サステナビリティ・リンク・ボンドへの投資について

茨城みなみ農業協同組合は、このたび、三菱地所株式会社が発行するサステナビリティ・リンク・ボンドに投資したことをお知らせいたします。

サステナビリティ・リンク・ボンドとは、企業が事前に設定したサステナビリティ目標の達成状況に応じて財務的・構造的に変化する可能性のある債券のことであり、ESG投資の対象となります。三菱地所グループは2050年にありたい姿を示した「Sustainability Vision 2050」の制定や、グループ内のCO2等温室効果ガス削減目標の更新や女性管理職比率増加などの数値目標を設定した「2050年ネットゼロ宣言」の公表などを行い、サステナブルな社会の実現に向けての取り組みを行っております。

引き続き、当組合は本債券をはじめとした SDGs 債への投資を実施することによって、 責任ある機関投資家としての責務を果たし、自然環境との共生に向けた持続可能な社会の 実現に貢献できるよう取り組みを進めてまいります。

【本債券の概要】

銘 柄	三菱地所株式会社 第 143 回無担保社債
	(サステナビリティ・リンク・ボンド)
年 限	10年(2033年5月2日償還)
発行額	300 億円
発行日	2023年5月2日

以 上

